

(第2号様式)

名商工第 2260 号
令和5年 3月29日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立名護商工高等学校
校長 大城 正
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月20日	場所	応接室	出席 状況	4名中2名出席
第2回	日時	令和4年12月23日	場所	応接室	出席 状況	4名中3名出席
第3回	日時	令和5年3月23日	場所	応接室	出席 状況	4名中4名出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①生徒の学習への取り組み、検定指導、生活指導、広報活動、キャリア教育についての助言
- ②学校行事についての評価、地域との連携のあり方についての助言
- ③学校関係者評価

3 学校評議員の意見

- ①地域との連携を密に行ってほしい。
- ②PTAや保護者との連携を充実させてほしい
- ③部活動を是非活性化するよう取り組んでもらいたい。
- ④特別な支援を要する生徒への対応について取り組んでもらいたい。
- ⑤学校評議員が学校にもっと参加する機会をつくれないうか。
- ⑥学校の熱意が感じられる。今回の入試の状況に繋がっていると考える。

4 学校運営に反映した事項

- ①学園祭では、地域の青年会によるエイサーを中庭で行い大盛況であった。
- ②Teamsの活用、学校独自の「めるぼん」の活用により、生徒の活躍や各種連絡を適宜行った。
- ③各種部活の精選を行うことで、割り当て職員を増やせるようにする。
- ④令和5年度は、特別支援教育支援員を配置し、きめ細かな学習支援等にあたる。
- ⑤PTA参観日や各種行事については積極的に案内する。

5 課題その他

学校課題について、学校評議員の意見を反映させ教育活動の充実を図りたい。